

コカナダモ駆除活動報告

目 的

裏磐梯の湖沼(曲沢沼等)に繁茂している外来生物コカナダモが、本来の自然環境に悪影響を与えており、その環境改善を目的として防除作業を実施する。

コカナダモの減少による環境の改善が図られ、地域内における外来生物に対する認知度の向上と環境改善を目指した取り組みへの理解促進、意識の向上を図る。

概 要

平成25年より狐鷹森行政区を中心に、各関係機関と連携して曲沢沼の外来生物コカナダモの駆除活動が行ってきた。

- 6月 9日 孤鷹森行政区長・北塩原村商工観光課・裏磐梯ビジターセンター・裏磐梯エコツーリズム協会でコカナダモ防除について会合を開き、湖未来基金への申請・日程・処理・各役割について検討。(当協会は備品調達、処理業者との打ち合わせ、連絡、会場設営、報告書を担当)
- 8月 申請手続き・処理業者との連絡・福島大学黒沢研究室との連絡・地域住民への告知チラシ作製など準備
- 9月 2日 最終打ち合わせ
- 9月 8日 防除活動実施 (日程については福島大学黒沢研究室研修日に合わせた)
上記関係者・地域住民・環境省保護官事務所・黒沢研究室学生の皆さん総勢30名で実施
- *9月10日 裏磐梯エコツーリズム協会賛助会員である(株)ニチレイの研修で福島大学とエコツーリズム協会合同で曲沢のコカナダモ駆除活動を実施。
- *10月2日 曲沢沼への流入する上流沼(ペンションとも庭前の沼)でのコカナダモを駆除しなければ繁茂状態は改善されないのではと、福島大学・当協会で行った駆除を実施。

*印については湖未来基金の助成は受けていない

調査結果

別紙報告にあるように曲沢においては、ほぼ半分のコカナダモを駆除できた。

上流沼においてはほぼ全部のコカナダモを駆除できた。

考 察

曲沢沼の奥のコカナダモについては手作業・人力での回収方法での限界があり、全部を取りきることはできなかった。回を重ねるごとに回収方法が改善されて効率はよくなっているため、色々試行していきたいが人でも必要なので連携を大事に活動を継続していかなければならないと思う。

報告者

真野 真理子